

徳島市自動体外式除細動器（A E D）貸出要綱

（趣旨）

第1条 この要綱は、本市で開催される多くの住民の参加が見込まれる各種行事（以下「行事」という。）において、参加者が突然の心肺停止状態に陥った際の救命活動に備えるため、自動体外式除細動器（以下「A E D」という。）を貸出すことに関し、必要な事項を定めるものとする

（対象者）。

第2条 A E Dの貸出を受けることができる者は、営利を目的としない行事を主催する代表者（以下「代表者」という。）とする。

（要件）

第3条 署長は、行事の開催期間を通じて、医療従事者、救急救命士又は普通救命講習（平成17年9月以降に開催された、A E Dの使用方法を含む普通救命講習に限る。）を修了した者が主催者側として参加している場合に限り、A E Dを貸出すことができる。

（貸出用A E Dの配置）

第4条 各消防署に貸出用A E Dを1台配置する。

（貸出期間及び台数）

第5条 A E Dの貸出期間は、引渡の日から3日以内とする。ただし、貸出期間が3日を超える場合については、代表者と署長が協議し延長することができる。

2 一つの行事でA E Dが2台必要となる場合は、各署長が協議し、相互に貸出用A E Dを活用することができる。

（費用）

第6条 A E Dの貸出については、財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例（昭和39年条例第15号）第7条により、無償とする。

（貸出の手続）

第7条 A E Dの貸出を受けようとする代表者は、A E D貸出申込書（様式第1号）により署長に申し込まなければならない。

2 署長は、前条の申込みがあった場合は、その内容を審査し、貸出する場合は、A E D貸出書（様式第2号）を交付するものとする。

3 署長は、A E Dの貸出時には、その使用方法、注意点及び貸出付属品数を代表者に説明しなければならない。

(記録)

第8条 署長は、A E Dを貸出した場合は、A E D貸出記録簿(様式第3号)に記録するものとする。

(返却等)

第9条 署長は、貸出されたA E Dが返却されたときは、使用の有無、異状の有無、貸出付属品数及び機能確認を行うものとする。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、署長が別に定める。

附則

この要綱は、平成20年2月1日から施行する。